



Copyright © 2013 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. IM-BIS について
 - 3.1. IM-BIS の構成
 - 3.2. IM-BIS の特徴
 - 3.3. BISフローとワークフロー
- 4. 基本編
 - 4.1. 申請／処理開始する
 - 4.2. 承認／処理する
 - 4.3. 確認する
 - 4.4. 代理設定をする
- 5. 応用編
 - 5.1. 印影設定をする
 - 5.2. 履歴を参照する
 - 5.3. BAMの収集結果を確認する
 - 5.4. サブフローを実行する
 - 5.5. 特殊なノードを設定する
- 6. 付録
 - 6.1. 申請／処理開始一覧
 - 6.2. 未処理一覧
 - 6.3. 処理済一覧
 - 6.4. 参照一覧
 - 6.5. 代理・特定業務代理・権限代理の違い

改訂情報

変更年月 日	変更内容
2013-02-01	初版
2013-08-07	第2版 下記を追加・変更しました。 ▪ 「動的承認ノード」 ▪ 「縦配置・横配置ノード」
2014-09-01	第3版 下記を変更しました。 ▪ 「はじめに」
2016-08-01	第4版 下記に再申請・承認時の一時保存の利用に関する説明を追加しました。 ▪ 「ワークフローの一時保存を行う」 ▪ 「BISフローの処理を実行する／ワークフローの承認を行う」 下記を変更しました。 ▪ IM-BPM のリリースに伴い、BIS作成種別「BPM」を「BISフロー」に変更しました。
2017-08-01	第5版 下記にノードが削除、または、変更された場合の表示に関する説明を追加しました。 ▪ 「BAMで収集した処理時間、待ち時間のデータを確認する」

はじめに

本書の目的

本書は IM-BIS for Accel Platform （以下 IM-BIS ）でのフローの実行方法について説明したドキュメントです。

対象読者

次の利用者を対象としています。

- IM-BIS でBISフロー、ワークフローの利用者への機能、利用方法について、推進される方

IM-BIS では、利用する機能に応じて、ユーザを以下のように分類しております。

ユーザの役割に合わせて必要なドキュメントを参照してください。

	役割	説明
	IM-BIS システム管理者 ＜本書の対象＞	■ IM-BIS for Accel Platform で作成したフローに関する詳細設定を行います。 ■ IM-Workflow 、 IM-FormaDesigner の機能、外部連携を利用するための設定を行います。
	IM-BIS 業務管理者 ＜本書の対象＞	■ IM-BIS for Accel Platform でBISフロー、ワークフローの定義を行います。 ■ 作成した IM-BIS で履歴やBAMの情報の収集の設定を行います。
	IM-BIS 利用者	■ IM-BIS で定義されたBISフロー、ワークフローを実行します。

本書の構成

- [IM-BIS について](#)

IM-BIS の概要についてご理解いただけます。

- [基本編](#)

IM-BIS でのBISフロー、ワークフローを実行する際の基本的な手順をご確認いただけます。

- [応用編](#)

IM-BIS でのBAMや履歴などの高度な機能の利用方法についてご確認ください。

- [付録](#)

IM-BIS でのフローの実行時などに利用する画面の使い方についてご確認ください。

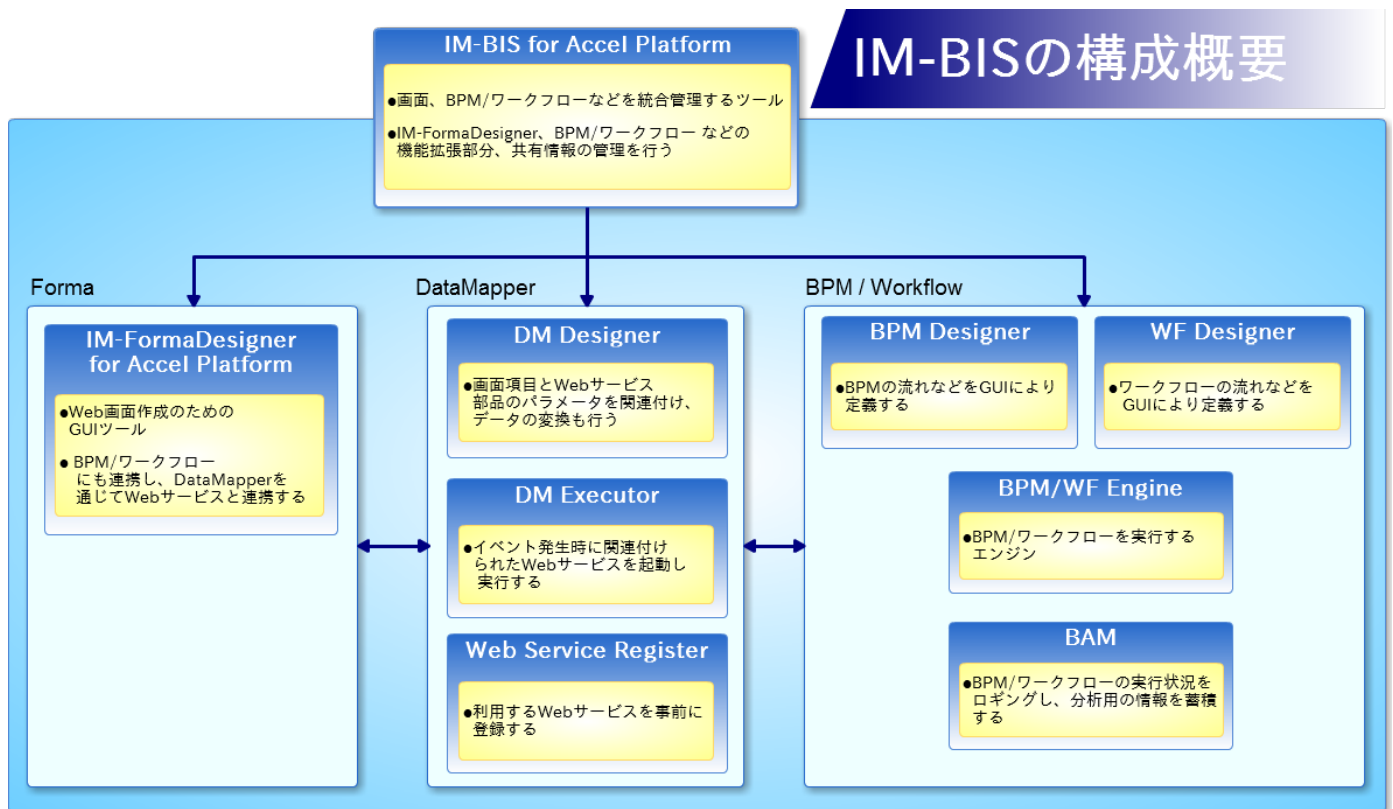
IM-BIS について

IM-BIS(Business Integration Suite)とは、intra-mart Accel Platform 上で動作する統合開発環境です。専門的なアプリケーション開発スキルを必要とせず、視覚的で直感的な開発ツールにより、業務に携わる利用者自身が業務プロセスの設計、開発を行うことができます。

外部連携機能や業務プロセスの分析機能を標準で用意しており、既存の資産を有効利用しながら業務改善の基盤としてお使いいただけます。

また、IM-BIS はクラウド環境でも利用することができるため、初期投資を抑えつつ段階的な業務統合を推進することができます。

IM-BIS の構成



IM-BIS の特徴

開発環境を統合

- 画面、外部連携、BISフロー、ワークフローを全て統合化した開発環境です。
- 業務分析のためのBAMを標準装備しており、ビジネスプロセスのボトルネックの改善を図ることができます。
- BISフローとワークフローを一体化するサブフロー機能により柔軟なフローの開発ができます。

画面と処理の完全な分離

- マッピングツールにより外部システムのWebサービスなどと容易に連携ができます。

- 画面と処理をマッピングツールにより連携できるため開発を分業化することができます。

可視化された新たな開発メソッドロジー

- タスクの流れをフローで定義し、フローを参照しながらタスクで使用する画面を開発することができます。
- タスク上に設定されたコンテンツ（画面等）はタスクのアイコンにより可視化され、開発状況が確認できます。
- 複雑な処理は画面とは分離し、SOA化してマッピングツールで連携することができます。

BISフローとワークフロー

IM-BIS でフローを作成する場合には、「BISフロー」と「ワークフロー」の2つから選択できますが、以下のポイントで使い分けていただくと、利用しやすくなります。

- 申請・承認を伴う 業務プロセスの管理を行う場合
 - 「ワークフロー」をご利用ください。
- 申請・承認を伴わない 業務プロセスの管理を行う場合
 - 「BISフロー」をご利用ください。



コラム

IM-BIS 2016 Summer (8.0.11) 以降、IM-BPM のリリースに伴い、簡易BPMである作成種類「BPM」の名称を「BISフロー」に変更します。

各ドキュメント内にて、画像等旧名称のままのものが存在しますが、「BPM」と「BISフロー」を読み替えて参照をお願いします。

基本編

ここでは、IM-BIS の基本的な操作方法についてご確認ください。

申請／処理開始する

BISフロー／ワークフローを新規に開始する際に、利用者が行う操作について説明します。

利用者は、利用者自身が申請／処理開始の処理対象として指定されているBISフロー／ワークフローについて操作することができます。

BISフローの処理を開始する／ワークフローの申請を行う

作成したBIS定義を使用して処理の開始、または申請を行います。

処理開始（BISフロー）

次の手順で、「処理開始（BISフロー）」画面からBISフローの処理を開始します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「処理開始」をクリックします。
2. 「処理開始（BISフロー）」画面が表示されますので、申請／開始基準日を指定します。
初期値として、当日の日付が設定されていますので、変更しない場合は次の手順に進みます。

3. 処理を開始するフロー（BIS定義）の  をクリックします。

処理開始(BPM)

ワークフロー 表示条件

フロー

申請/開始基準日 2013/01/15 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルBPM		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1を表示

4. 必要な情報を入力し、「処理」をクリックします。

サンプルBPM

処理

処理名 サンプル

処理内容 BPMサンプル用の処理を行います。

処理金額 5,000 円

処理

5. フロー（BIS定義）の設定によって、以下の画面が出た場合には次の手順で入力します。

- 「処理条件選択」画面が表示された場合
 - 今回の処理を開始するときの利用者の組織を選択し、「処理」をクリックしてください。

処理条件選択

担当組織 * サンプル課12 ▼

処理

- 「申請／処理開始」画面が表示された場合
- 必要な情報を入力し、「申請／処理開始」をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * サンプルBPM

申請／処理開始者 BIS担当者

申請／開始基準日 2013/01/16

担当組織 * サンプル課12 ▼

優先度 通常 ▼

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 根回し

申請／処理開始

6. 正常に処理が開始できると、最初の「処理開始（BISフロー）」画面に戻ります。

処理開始(BPM)

ワークフロー 表示条件

フロー

申請／開始基準日 2013/01/15 申請／処理開始者 BIS担当者

申請／処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルBPM		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1 - 1を表示

申請（ワークフロー）

次の手順で、申請（ワークフロー）画面からワークフローの申請を行います。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. 「申請（ワークフロー）」画面が表示されますので、申請／開始基準日を指定します。
初期値として、当日の日付が設定されていますので、変更しない場合は次の手順に進みます。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/16 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 申請を行うフロー（BIS定義）の  をクリックします。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/16 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

4. 必要な情報を入力し、「申請」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 12000 円

申請 一時保存

5. 「申請／処理開始」画面で必要な情報を入力し、「申請／処理開始」をクリックします。

申請／処理開始 【申請／処理開始】

フロー

案件名 * サンプルワークフロー

申請／処理開始者 BIS担当者

申請／開始基準日 2013/01/16

担当組織 * サンプル課12

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 撤回し

申請／処理開始

6. 正常に申請が行えると、最初の「申請（ワークフロー）」画面に戻ります。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/16 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1を表示

ワークフローの一時保存を行う

ワークフローでは、申請せずに一時的に保存する機能（一時保存）を利用できます。



コラム

BISフローでは、一時保存はご利用できません。

申請前に入力した内容を一時保存する

入力した内容を申請前に一時保存するには、以下の手順で行います。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. 申請を行うフロー（BIS定義）の  をクリックします。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/16 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1を表示

3. 必要な情報を入力し、「一時保存」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 一時保存サンプル

申請内容 ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 50000 円

申請 一時保存

4. 「一時保存」画面で必要な情報を入力し、「一時保存」をクリックします。

一時保存

フロー

案件名 *	サンプルワークフロー
申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/16
+ コメント	

一時保存

5. 正常に一時保存が行われると、最初の「申請（ワークフロー）」画面に戻ります。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/16 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名 ↑	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

一時保存の内容から申請を行う

一時保存した内容から申請を行うには、以下の手順で行います。

なお、一時保存から申請を行った後は、一時保存の一覧から保存したデータは削除されます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。

2. 「申請（ワークフロー）」画面で「一時保存」をクリックします。

The screenshot shows the '申請(ワークフロー)' (Application/Workflow) screen. At the top, there are tabs for 'フロー' (Flow) and '一時保存' (Temporary Save), with '一時保存' being the active tab. Below the tabs, there are input fields for '申請/開始基準日' (Application/Start Date) set to '2013/01/16' and '申請/処理開始者' (Application/Processing Start User) set to 'BIS担当者'. A table below shows a single row with 'サンプルワークフロー' (Sample Workflow) in the 'フロー名' (Flow Name) column. At the bottom, there is a pagination bar showing '1 ページ中 1 ページ目' (1 page of 1, page 1) and '1件中 1-1 を表示' (Display 1 of 1 items).

3. 申請を行う一時保存中の案件の  をクリックします。

The screenshot shows the '申請(ワークフロー)' screen with the '一時保存' (Temporary Save) tab selected. Below the tabs, there is a table with the following columns: '申請/処理開始' (Application/Processing Start), 'フロー名' (Flow Name), '申請/開始基準日' (Application/Start Date), '申請/処理開始者' (Application/Processing Start User), '案件名' (Case Name), 'コメント' (Comment), 'フロー' (Flow), and '削除' (Delete). The first row of the table contains 'サンプルワークフロー' (Sample Workflow) in the 'フロー名' column, '2013/01/16' in the '申請/開始基準日' column, 'BIS担当者' in the '申請/処理開始者' column, 'サンプルワークフロー' in the '案件名' column, and a document icon in the 'フロー' column. The document icon is highlighted with a red box. At the bottom, there is a pagination bar showing '1 ページ中 1 ページ目' (1 page of 1, page 1) and '1件中 1-1 を表示' (Display 1 of 1 items).

4. 必要な情報を入力し、「申請」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 一時保存サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 50000 円

申請 一時保存

5. 「申請／処理開始」画面で必要な情報を入力し、「申請／処理開始」をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 *	サンプルワークフロー
申請／処理開始者	BIS担当者
申請／開始基準日	2013/01/16
担当組織 *	サンプル課12 ▼
優先度	通常 ▼
+ コメント	
+ 添付ファイル	
+ 撤回し	

申請／処理開始

6. 正常に申請が行えると、「一時保存」の一覧画面に戻ります。
申請を行った一時保存のデータは、一覧から削除されています。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

申請／処理開始	フロー名	申請／開始基準日	申請／処理開始日	案件名	コメント	フロー	削除
---------	------	----------	----------	-----	------	-----	----

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

再申請時に入力した内容を一時保存する

申請後の案件で引戻しや差し戻し後の再申請時に一時保存を行うには、以下の手順で行います。
一時保存後の案件は、「未処理（ワークフロー）」から再申請を行うことができます。



コラム

再申請時の一時保存は、IM-BIS 8.0.11(2016 Summer)以降のバージョンで、ご利用いただけます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 未処理の一覧から対象の案件の「処理」をクリックします。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	フロー行	申請/開	申請/処	申請/決	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理機能	フロー	履歴
			00000 00008	再申請 時の一 時保存		2016/06	2016/06	青柳辰 巳	サンプ ルワー クロー ー	申請/ 処理開 始		2016/06				

3. 必要な情報を入力し、「一時保存」をクリックします。

サンプルワークフロー

←

申請内容

件名 再申請での一時保存

テキスト 再申請時に一時保存を行います。

決裁金額 1,100,000 円

再申請 一時保存

4. 確認のメッセージが表示されたら「決定」をクリックします。

サンプルワークフロー

←

申請内容

件名 再申請での一時保存

テキスト 再申請時に一時保存を行います。

決裁金額

再申請

一時保存確認

一時保存します。よろしいですか？

決定 取り消し

5. 正常に一時保存が行われると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

未処理(ワークフロー)

一時保存が完了しました。

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	フロー名	申請/拒	申請/拒	申請/拒	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			00000 00008	再申請時の一時保存		2016/06	2016/06	青柳辰巳	サンプルワークフロー	申請/処理開始		2016/06				

BISフロー／ワークフローの引き戻しを行う

「引き戻し」とは、申請／処理開始、または承認／処理を行った案件について、直前のタスクの処理対象者が再度処理対象者自身のタスクに処理を戻す処理です。

コラム

「引き戻し」で前のタスクに処理を戻す場合には、1つ前のタスクに戻すことができます。現在、処理中のタスクから2つ以上前のタスク、または直前のタスクの処理対象者以外に処理を戻す場合には「差戻し」をご利用ください。

引戻し（BISフロー）

「処理済（BISフロー）」画面からBISフローの引戻しを行うには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「処理済」をクリックします。
2. すでに利用者自身が申請／処理開始、または承認／処理を行った案件の一覧が表示されます。

処理済 (BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 代理先
処理済 処理済

他者案件
本人 代理元
処理済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請／開始日	申請／処理日	申請／処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		0000000058	サンプル BPM	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプル BPM	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1を表示

3. 引戻しが行える案件には引戻しに  が表示されますので、対象の案件の  をクリックします。

処理済 (BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 代理先
処理済 処理済

他者案件
本人 代理元
処理済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
	●	0000000058	サンプル BPM	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプル BPM	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

4. 内容を確認し、「引戻し」をクリックします。

引戻し

フロー 履歴

案件番号 0000000058

案件名 サンプル BPM

申請/処理開始者 BIS担当者

引戻し先 *

選択	処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
☒	2013/01/16	承認/処理	承認/処理	BIS担当者		サンプル課12

+ コメント

+ 根回し

引戻し

5. 引戻しができると、対象の案件の が表示されなくなります。

処理済 (BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 代理先
処理済 処理済

他者案件
本人 代理元
処理済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
☐	●	0000000058	サンプル BPM	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプル BPM	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

6. 引戻した案件を再度処理する場合には、「未処理 (BISフロー)」画面の一覧から処理を行います。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理
処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
		●	0000000058	サンプル BPM	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプル BPM	承認/処理		2013/01/16				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

引戻し (ワークフロー)

「処理済（ワークフロー）」画面からワークフローの引戻しを行うには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「処理済」をクリックします。
2. すでに利用者自身が申請／処理開始、または承認／処理を行った案件の一覧が表示されます。

処理済(ワークフロー)

BPM 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件

本人 申請済 処理済

代理先 申請済 処理済

他者案件

本人 申請済 処理済

代理元 申請済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請／開始日	申請／処理日	申請／処理人	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		000000006 7	サンプルワークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワークフロー	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 引戻しが行える案件には  が表示されますので、対象の案件の  をクリックします。

処理済 (ワークフロー)

BPM 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 申請済 処理済 代理先 申請済 処理済

他者案件
本人 申請済 処理済 代理元 申請済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
	●	0000000067	サンプルワークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワークフロー	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

4. 内容を確認し、「引戻し」をクリックします。

引戻し

フロー 履歴

案件番号 0000000067

案件名 サンプルワークフロー

申請/処理開始者 BIS担当者

引戻し先 *

選択	処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
☒	2013/01/16	承認/処理	差戻し	BIS担当者		サンプル課12

+ コメント

+ 根回し

引戻し

5. 引戻しができると、対象の案件の  が表示されなくなります。

処理済 (ワークフロー)

BPM 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 申請済 処理済 代理先 申請済 処理済

他者案件
本人 申請済 処理済 代理元 申請済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
☐	●	0000000067	サンプルワークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワークフロー	2013/01/16		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1-1 を表示

6. 引戻した案件を申請する場合には、「未処理（ワークフロー）」画面の一覧から再申請を行います。

未処理 (ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
		●	0000000067	サンプルワークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワークフロー	承認/処理		2013/01/16				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1-1 を表示

BISフローの処理を再処理する／ワークフローの再申請を行う

申請／処理開始後の案件で、処理対象者によって引き戻し・差し戻しが行われた場合には、再処理／再申請で処理開始／申請をやり直すことができます。

再処理（BISフロー）

次の手順で、「未処理（BISフロー）」画面から引き戻し・差し戻しが行われたBISフローの処理を再度行います。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（BISフロー）」画面で引戻し、差戻しが行われた案件の  をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請／開	申請／処	申請／処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0059	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	申請／ 処理開 始		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 必要な情報を入力し、「処理」をクリックします。

サンプルBPM

処理

処理名 サンプル

処理内容 BPMサンプル用の処理を行います。

処理金額 5,000 円

処理

4. 正常に処理が開始できると、「未処理（BISフロー）」画面に戻ります。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
表示するレコードがありません															

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

再申請（ワークフロー）

次の手順で、「未処理（ワークフロー）」画面からワークフローの再申請を行います。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。

2. 「未処理（ワークフロー）」画面で引戻し、差戻しが行われた案件の  をクリックします。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人

申請 承認

代理

申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0065	サンプル ワークフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル ワークフ ロー	申請/ 処理開 始		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 必要な情報を入力し、「再申請」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 152000 円

再申請

4. 正常に処理が開始できると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません



コラム

再申請が行われたワークフローの案件は、 の表示が消えます。

BISフローの処理／ワークフローの申請を取り止める

申請／処理開始後の案件は、取り止めによって処理／申請を中止することができます。

否認／取止め（BISフロー）

次の手順で、「未処理（BISフロー）」画面からBISフローの処理を取り止めることができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（BISフロー）」画面で処理開始後の案件の  をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/受	申請/受	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0058	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 必要な情報を入力し、「オプション処理」をクリックします。

サンプルBPM

処理

処理名 サンプル

処理内容 BPMサンプル用の処理を行います。

処理金額 5,000 円

処理 オプション処理

4. 「処理種別」を「否認/取り止め」に変更し、「否認/取止め」をクリックします。

処理 [承認/処理]

フロー 履歴

処理種別 * 否認/取止め

案件番号 0000000058

案件名 サンプルBPM

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/16
申請/処理開始日	2013/01/16

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課12

+ コメント

+ 根回し

否認/取止め

5. 正常に取り止めが行われると、「未処理（BPM）」画面に戻ります。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
表示するレコードがありません。															

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません。

コラム

- 取り止めが行われたBISフローの案件は、「未処理（BISフロー）」画面から表示されなくなります。
- 「取止め」は、BIS定義で「ボタン権限設定」が有効になっている場合に実行できます。

否認／取止め（ワークフロー）

次の手順で、「未処理（ワークフロー）」画面からワークフローの申請を取り止めることができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（ワークフロー）」画面で申請後の案件の  をクリックします。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人

申請 承認

代理

申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/日	申請/月	申請/年	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			0000000063	サンプルワークフロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当者	サンプルワークフロー	申請/処理開始		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 必要な情報を入力し、「再申請」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 50000 円

再申請

4. 「処理種別」を「否認／取り止め」に変更し、「否認／取り止め」をクリックします。

再申請／処理 [申請／処理開始]

フロー 履歴

案件番号	0000000063
処理種別 *	取止め ▼
案件名 *	サンプルワークフロー
申請／処理開始者 *	BIS担当者 ▼
担当組織 *	サンプル課12 ▼
+ コメント	
+ 根回し	

取止め

5. 正常に取り止めが行われると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

- 取り止めが行われたワークフローの案件は、「未処理（ワークフロー）」画面から表示されなくなります。
- 取り止めを行う際には、事前に申請者に引き戻し、または差戻しで処理が戻っている必要があります。

申請／処理が開始されたBISフロー／ワークフローの案件に対して、利用者が行う操作について説明します。
利用者自身が承認／処理の処理対象として指定されているBISフロー／ワークフローについて操作することができます。

フロー（BIS定義）で申請／処理開始が行われた案件の承認／処理を行います。

未処理（BISフロー）画面からBISフローの処理を行うには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（BISフロー）」画面で申請／処理開始が行われた案件の  をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0060	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「処理」または「オプション処理」をクリックします。

サンプル BPM

処理

処理名 サンプル

処理内容 BPMサンプル用の処理を行います。

処理金額 5,000 円

処理 オプション処理

4. BIS定義の設定によって、以下の画面が出た場合には次の手順で入力します。

- 「処理」をクリックした場合
 - 今回の処理対象者の組織を選択し、「処理」をクリックしてください。

処理条件選択

処理者 * BIS担当者 ▼

担当組織 * サンプル課12 ▼

処理

- 「オプション処理」をクリックした場合
- 必要な情報を入力し、「承認／処理」をクリックします。

処理 [承認／処理]

フロー 履歴

処理種別 * 承認／処理 ▼

案件番号 0000000060

案件名 サンプルBPM

申請／処理開始情報	
申請／処理開始者	BIS担当者
申請／開始基準日	2013/01/16
申請／処理開始日	2013/01/16

処理者 * BIS担当者 ▼

担当組織 * サンプル課12 ▼

+ コメント

+ 根回し

承認／処理

5. 正常に処理が行われると、「未処理（BISフロー）」画面に戻ります。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請／開	申請／処	申請／処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

承認（ワークフロー）

未処理（ワークフロー）画面からワークフローの承認を行うには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（ワークフロー）」画面で申請／処理開始が行われた案件の  をクリックします。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人

申請 承認

代理

申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0066	サンプル ワークフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル ワークフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「承認」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 70000 円

承認

4. 必要な情報を入力し、「承認/処理」をクリックします。

処理 [承認/処理]

フロー 履歴

処理種別 * 承認/処理

案件番号 0000000066

案件名 サンプルワークフロー

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/16
申請/処理開始日	2013/01/16

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課12

+ コメント

+ 撤回し

承認/処理

5. 正常に承認が行われると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/閉	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
表示するレコードがありません															

0 ページ中 0 ページ目 15



コラム

IM-BIS 8.0.11(2016 Summer)以降のバージョンでは、承認時にも一時保存を行うことができます。

手順は、再申請時の一時保存と同様となるため、以下のリンク先を参照してください。

[再申請時に入力した内容を一時保存する](#)

BISフローの処理／ワークフローの承認の差し戻しを行う

BIS定義で申請／処理開始が行われた案件の差し戻しを行います。

差し戻し（BISフロー）

「未処理（BISフロー）」画面から申請／処理開始されたBISフローの処理を差し戻すには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（BISフロー）」画面で申請／処理開始された案件の  クリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/受	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0061	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「オプション処理」をクリックします。

サンプルBPM

処理

処理名

処理内容

処理金額 円

処理

4. 「処理種別」を「差戻し」に変更し、「差戻し先」を選択し、「差戻し」をクリックします。

処理【承認／処理】

フロー 履歴

処理種別

案件番号

案件名

申請／処理開始情報

申請／処理開始者	BIS担当者
申請／開始基準日	2013/01/16
申請／処理開始日	2013/01/16

処理者

担当組織

+ コメント

差戻し先

選択	ノード名	処理	処理者
☒	申請／処理開始	申請／処理開始	BIS担当者

+ 撤回

5. 正常に差戻しが行われると、「未処理（BISフロー）」画面に戻ります。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/開	申請/開	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0061	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	申請/ 処理開 始		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

差戻し（ワークフロー）

未処理（ワークフロー）画面から申請／処理開始されたワークフローの申請を差戻すには、次の手順で設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（ワークフロー）」画面で申請／処理開始された案件の をクリックします。

未処理 (ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人

申請 承認

代理

申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0067	サンプル ワークフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル ワークフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「承認」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 150000 円

承認

4. 「処理種別」を「差戻し」に変更し、「差戻し先」を選択し、「差戻し」をクリックします。

処理 [承認/処理]

フロー 履歴

処理種別 * 差戻し

案件番号 0000000067

案件名 サンプルワークフロー

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/16
申請/処理開始日	2013/01/16

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課12

+ コメント

差戻し先 *

選択	ノード名	処理	処理者
☒	申請/処理開始	申請/処理開始	BIS担当者

+ 根回し

差戻し

5. 正常に差戻しが行われると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

未処理 (ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理範囲	フロー	履歴

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

BISフローの処理を取り止める／ワークフローの否認を行う

BIS定義で申請／処理開始が行われた案件の否認／取り止めを行います。

否認／取止め（BISフロー）

次の手順で、「未処理（BISフロー）」画面からBISフローの処理を否認／取止めすることができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（BISフロー）」画面で申請が行われた案件の  をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0077	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「オプション処理」をクリックします。

サンプルBPM

処理

処理名 サンプル

処理内容 BPMサンプル用の処理を行います。

処理金額 5,000 円

処理 オプション処理

4. 「処理種別」を「否認／取止め」に変更し、「否認／取止め」をクリックします。

処理 [承認／処理]

フロー 履歴

処理種別 * 否認／取止め

案件番号 0000000077

案件名 サンプルBPM

申請／処理開始情報

申請／処理開始者	BIS担当者
申請／開始基準日	2013/01/17
申請／処理開始日	2013/01/17

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課12

+ コメント

+ 根回し

否認／取止め

5. 正常に処理が開始できると、「未処理（BISフロー）」画面に戻ります。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません



コラム

取り止めが行われたBISフローの案件は、「未処理（BISフロー）」画面から表示されなくなります。

否認／取止め（ワークフロー）

次の手順で、「未処理（ワークフロー）」画面からワークフローの申請を否認することができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「未処理」をクリックします。
2. 「未処理（ワークフロー）」画面で申請が行われた案件の  をクリックします。

未処理 (ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人

申請 承認

代理

申請 承認

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0078	サンプル ワークフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル ワークフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「承認」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 100000 円

承認

4. 「処理種別」を「否認／取止め」に変更し、「否認／取止め」をクリックします。

処理 [承認/処理]

フロー 履歴

処理種別 * 否認/取止め

案件番号 0000000078

案件名 サンプルワークフロー

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/17
申請/処理開始日	2013/01/17

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課12

+ コメント

+ 根回し

否認/取止め

5. 正常に処理が開始できると、「未処理（ワークフロー）」画面に戻ります。

未処理(ワークフロー)

BPM 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/割	申請/割	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
表示するレコードがありません															

0 ページ中 0 ページ目 15



コラム

取り止めが行われたワークフローの案件は、「未処理（ワークフロー）」画面から表示されなくなります。

確認する

案件情報の確認方法を説明します。

確認

ワークフローでは、フローの確認をすることができます。



コラム

BISフローでは、確認はご利用できません。

フローを確認する

フロー上の確認ノードで確認対象者となっているユーザが、案件の処理状況を確認します。
確認ノードが接続しているノードの処理が完了した時点で、確認できます。

確認画面で一覧表示されている確認案件に対して操作します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「確認」をクリックします。
2. 確認したい案件の、 をクリックします。

確認(ワークフロー)

連続確認 一括確認 表示条件

未完了案件 完了案件

未確認  確認済 

確認	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	到達日	確認状況	フロー	履歴
		00000000 66	サンプルワ ークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワ ークフロー	2013/01/16			

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. 「承認」をクリックします。

サンプルワークフロー

申請内容

件名 サンプル

申請内容
ワークフローサンプル用の申請を行います。

決裁金額 70000 円

承認

4. 「確認」をクリックします。

確認ダイアログが表示されたら「決定」をクリックします。

確認

フロー 履歴

案件番号	0000000066
案件名	サンプルワークフロー
申請／処理開始者	BIS担当者
申請／開始基準日	2013/01/16
申請／処理開始日	2013/01/16
担当組織 *	サンプル課12
+ 確認コメント	

確認

5. 案件の確認ができました。



BISフロー／ワークフローを参照する

フロー（BIS定義）の処理対象者以外の利用者がフローの処理内容を参照することができます。

参照（BISフロー）

ワークフローシステム管理者によって参照権限が与えられている場合、申請された案件情報を参照できます。

操作権限がある場合、案件情報を操作することもできます。

案件操作については、「[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「BISフロー」→「参照」をクリックします。
2. 「参照（BISフロー）」画面が表示され、ユーザが参照権を持つ案件が確認できます。
タブを選択することによって、「未完了案件」と「完了案件」を切り替えて表示できます。

参照(BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

操作	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	フロー	履歴
		0000000070	サンプルBPM	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルBPM		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1 - 1 を表示



コラム

案件の操作権限がある場合のみ、「操作」にアイコンが表示されます。

参照（ワークフロー）

ワークフローシステム管理者によって参照権限が与えられている場合、申請された案件情報を参照できます。

操作権限がある場合、案件情報を操作することもできます。

案件操作については、「[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「参照」をクリックします。
2. 「参照（ワークフロー）」画面が表示され、ユーザが参照権を持つ案件が確認できます。
タブを選択することによって、「未完了案件」と「完了案件」を切り替えて表示できます。

参照(ワークフロー)

BPM 表示条件

未完了案件 完了案件

操作	優先度	案件番号	案件名	申請/開始基	申請/処理間	申請/処理間	フロー名	フロー	履歴
		0000000069	サンプルワークフロー	2013/01/16	2013/01/16	BIS担当者	サンプルワークフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示



コラム

案件の操作権限がある場合のみ、「操作」にアイコンが表示されます。

代理設定をする

代理とは、処理権限を持つ利用者本人が、別の利用者に処理を依頼することができる機能です。代理を依頼された利用者は、依頼元が処理対象となっている申請や承認を行うことができます。

各種代理設定の処理操作、またその確認方法について説明します。

代理を設定する

利用者が出張等の理由で不在となる場合に、代理として案件の処理を別の利用者に委託します。代理先としてユーザのみ指定可能で、全てのフローが対象です。

代理先設定（代理）

代理は次の手順で設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「代理設定」→「代理先設定」をクリックします。
2. 「新規作成」をクリックします。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/09

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

編集	代理期間開始	代理期間終了	代理先	備考	申請／処理開始	承認／処理
表示するレコードがありません						

- 代理先情報を入力します。
- 「登録」をクリックします。

代理先設定 - 代理 - 新規作成

代理先 * 青柳辰巳 検索

代理期間 * 2013/01/01 から 2013/01/12

委譲する権限 * ☒ 申請／処理開始 ☒ 承認／処理

備考

代理設定通知 ☐ 送信する

登録

- 代理先設定ができました。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/01

編集	代理期間開始	代理期間終了	代理先	備考	申請/処理済	承認/処理
	2013/01/01	2013/01/12	香柳辰巳		✓	✓

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示



コラム

代理設定は、登録した時点で即時に反映されます。

特定業務代理を設定する

対象フローの処理を別の利用者に代行してもらいます。

ユーザ、組織、パブリックグループ、役職、役割での指定が可能で、対象となるフローを指定します。

代理先設定（特定業務代理）

特定業務代理は次の手順で設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「代理設定」→「代理先設定」をクリックします。
2. 「特定業務代理」をクリックします。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/09

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

編集	代理期間開始	代理期間終了	代理先	備考	申請／処理済	承認／処理
----	--------	--------	-----	----	--------	-------

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

3. 「新規作成」をクリックします。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/09

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

編集	代理期間開始	代理期間終了	代理先対象種別	代理先対象名	フロー名	備考	申請／	承認／	状況
----	--------	--------	---------	--------	------	----	-----	-----	----

0 ページ中 0 ページ目 15 表示するレコードがありません

4. 特定業務代理情報を入力します。

5. 「登録」をクリックします。

代理先設定 - 特定業務代理 - 新規作成

←

代理先 *	対象種別 ユーザ	対象名 青柳辰巳	検索 ① 状況確認
代理の対象フロー *	BPMサンプル 検索		
代理期間 *	2013/01/01 から 2013/01/12		
委譲する権限 *	☒ 申請／処理開始 ☒ 承認／処理		
備考			

代理設定通知 ☐ 送信する

登録

6. 特定業務代理の設定ができました。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理									
基準日 2013/01/09									
編集	代理期間開始	代理期間終了	代理先対象種別	代理先対象名	フロー名	備考	申請／ 受	承認／ 受	状況
	2013/01/01	2013/01/12	ユーザ	青柳辰巳	BPMサンプル		✓	✓	①

1 ページ中 1 ページ目 15 1件中 1 - 1 を表示



コラム

特定業務代理設定は、登録した時点で即時に反映されます。

権限代理を設定する

申請、または承認処理を別の利用者に代行してもらいます。

ユーザ、組織、パブリックグループ、役職、役割での指定が可能で、全てのフローが対象です。

代理先設定（権限代理）

権限代理は次の手順で設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「代理設定」→「代理先設定」をクリックします。
2. 「権限代理」をクリックします。

3. 「新規作成」をクリックします。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/09

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

編集	代理期間	代理期間	代理先対象種別	代理先対象名	代理元対象種別	代理元対象名	備考	申請／	承認／	状況
表示するレコードがありません										

4. 権限代理情報を入力します。

5. 「登録」をクリックします。

代理先設定 - 権限代理 - 新規作成

←

代理元 * 対象種別 組織 対象名 サンプル課12 検索 ④ 状況確認

代理先 * 対象種別 ユーザ 対象名 青柳辰巳 検索 ④ 状況確認

代理期間 * 2013/01/01 から 2013/01/12

委譲する権限 * ☒ 申請／処理開始 ☒ 承認／処理

備考

代理設定通知 ☐ 送信する

登録

6. 権限代理の設定ができました。

代理先設定

新規作成 表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/09

編集	代理期間	代理期間	代理先対象種別	代理先対象名	代理元対象種別	代理元対象名	備考	由緒	承認	状況
	2013/01/01	2013/01/12	ユーザ	青柳辰巳	組織	サンプル課12		✓	✓	

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示



コラム

権限代理設定は、登録した時点で即時に反映されます。

代理元確認を行う

代理元確認では、他のユーザの申請（承認）／処理の代理処理者として利用者が設定されている内容の確認をすることができます。

代理元確認

利用者自身が他のユーザの代理処理者として設定されている場合、次の手順で内容を確認することができます。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「代理設定」→「代理元確認」をクリックします。
2. 代理として設定されている内容を確認できます。

代理元確認

表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/10

代理期間開始	代理期間終了	代理元	申請/処理開始	承認/処理
2013/01/10	2013/01/31	青柳辰巳	✓	✗
2013/01/09	2013/01/12	上田辰男	✓	✓

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

3. 「特定業務代理」をクリックします。

代理元確認

表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/10

代理期間開始	代理期間終了	代理元	申請/処理開始	承認/処理
2013/01/10	2013/01/31	青柳辰巳	✓	✗
2013/01/09	2013/01/12	上田辰男	✓	✓

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

4. 特定業務代理として設定されている内容を確認できます。

代理元確認

表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/10

代理期間開始	代理期間終了	代理元	フロー名	申請/処理間	承認/処理
2013/01/09	2013/01/12	上田辰男	BPMサンプル	✓	✓

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

5. 「権限代理」をクリックします。

代理元確認

表示条件

代理 特定業務代理 権限代理

基準日 2013/01/10

代理期間開始	代理期間終了	代理元	フロー名	申請/処理間	承認/処理
2013/01/09	2013/01/12	上田辰男	BPMサンプル	✓	✓

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

6. 権限代理として設定されている内容を確認できます。

代理元確認

表示条件

代理

特定業務代理

権限代理

基準日 2013/01/10

代理期間開始	代理期間終了	代理元対象種別	代理元対象名	代理元ユーザ名	申請／処理	承認／処理
2013/01/10	2013/01/31	組織	サンプル課11	青柳辰巳	✕	✓

1 ページ中 1

ページ目

15

1 件中 1 - 1 を表示

応用編

ここでは、IM-BIS の応用的な利用方法についてご確認ください。

印影設定をする

案件の処理に印影を利用する場合、利用者は事前に印影情報を作成しておく必要があります。
ここでは、印影情報を作成・更新・削除する「印影設定」の操作について説明します。

新規作成

印影の新規作成を行います。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「印影設定」をクリックします。
2. 「新規作成」をクリックします。

3. 印影設定情報を入力します。
4. 「登録」をクリックします。

印影設定 - 作成画面

←

印影設定 - 作成画面

印影名 常用印

☒ 常用印として利用する

絞り込みキーワード

[キーワード一覧](#)

印影タイプ ☒ 3段表示 ☐ 縦表示 ☐ 縦表示

上段 青柳辰巳 ☐ 日付

中段 H25.1.10 ☒ 日付

下段 ☐ 日付

印影プレビュー



登録

5. 印影が作成できました。

印影設定

新規作成

印影設定

絞り込みキーワード

常用印

青柳辰巳 H25.1.10	
------------------	--

✓ は常用印です。



コラム

常用印に設定した印影情報は、案件の申請・処理画面の初期選択として利用されます。
よく使う印影を常用印に設定しておけば、処理のたびに任意の印影を選択する手間を省くことができます。

常用印が設定されている場合、次の注意点があります。

- 一括処理等のいくつかの処理については押印する印影を選択できないため、常用印が押印されたものとして扱われます。
- 印影情報が常用印として設定されている場合は、削除ボタンが非活性で表示されます。

印影の選択

印影が必要なフローの場合の操作です。

案件の申請を例に説明します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. 申請したいフロー定義の、 をクリックします。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/01/10 申請/処理開始者 BIS業務担当者

申請/処理開始	フロー名 ↑	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1 を表示

3. 必要な情報を入力し、「申請」をクリックします。

備品購入申請(IMW)

決裁内容

社員番号 申請者  

申請日  所属部門

購入物品数 合計金額 円

発注希望日  発注先

購入明細

	備品名	メーカー	単価	発注先	数量	合計
1	モニタ	IM	12,000	IM-Cloud	3	36,000

申請 一時保存 戻る

4. 必要な情報を入力し、印影を選択します。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー 

案件名

申請／処理開始者

申請／開始基準日

担当組織

優先度

印影

常用印 部署印

青柳辰巳 開発部

H25.1.10 13/1/10

✓は常用印です。

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 撤回し

申請／処理開始

5. 「申請／処理開始」をクリックします。
確認ダイアログが表示されたら「決定」をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * サンプルワークフロー

申請／処理開始者 BIS業務担当者

申請／開始基準日 2013/01/10

担当組織 * サンプル課12

優先度 通常

印影 * 紋込みキーワード

常用印	部署印
香織 辰巳 H25.1.10	開発部 13/1/10

✓は常用印です。

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 根回し

申請／処理開始

6. 印影を使用して案件の申請ができました。
承認時に印影する場合も同様の操作です。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請／開始基準日 2013/01/10 申請／処理開始者 BIS業務担当者

申請／処理開始	フロー名 ↑	備考	フロー
	サンプルワークフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

- 印影は以下のように画面に表示されます。

サンプル発注書

IM-Cloud 御中 発注日 2013/01/10

Formaサンプル会社
〒123-4567
東京都○○区◇◇1-2-3 ○○タワー4階
TEL: 03-1234-5678
FAX: 03-5678-1234

下記の通り、発注いたします。

発注明細

備品名	メーカー	単価	発注先	数量	合計
モニタ	IM	12,000	IM-Cloud	3	36,000

発注品数 合計金額 円

備考

申請／処理開始	承認／処理
	

履歴を参照する

BISフロー／ワークフローの申請／処理の履歴を確認するための操作について説明します。

利用者は、利用者自身が処理対象者、参照者として確認できるフローについて、履歴を確認することができます。

BISフロー／ワークフローの履歴を確認する

BISフロー／ワークフローの履歴として、各タスク（ノード）の入力内容を確認することができます。

履歴参照

BISフロー／ワークフローの「履歴参照」画面を表示するには、以下の手順で確認します。

1. IM-BIS の申請／処理開始以外の一覧画面（未処理、処理済、参照、確認）に遷移します。
2. 履歴を参照したい申請／処理開始の「履歴」（）をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0052	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. ポップアップで「履歴参照」画面が開きますので、処理済のタスク（ノード）の「履歴」（）をクリックします。

履歴参照

案件番号 0000000052

案件名 サンプルBPM

申請/処理開始者 BIS担当者

開始 → 申請/処理開始 → 承認/処理 → 承認/処理 → 終了

処理履歴	処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント	履歴	BAM
	2013/01/15 23:11	申請/処理開始	申請/処理開始	BIS担当者		サンプル課 12			

4. クリックしたタスク（ノード）の処理時点の画面の入力内容がポップアップで表示されますので、内容を確認することができます。

処理

処理名

サンプル

処理内容

BPMのサンプルとして申請しています。

処理金額

10,000 円

コラム

履歴情報を参照するには、以下の前提条件があります。

- 対象のフローの履歴設定が入であること
- 参照するユーザは、フローの参照者、またはフローの処理対象者となっていること（参照者の設定は「[IM-BIS システム管理者操作ガイド](#)」を参照してください。）

BAMの収集結果を確認する

BISフロー／ワークフローの処理時間・待ち時間や集計項目のデータを確認するための操作について説明します。

利用者は、利用者自身が処理対象者、参照者として確認できるフローについて、BAMの収集結果を確認することができます。

BAMで収集した処理時間、待ち時間のデータを確認する

BAMを設定したフローの処理時間、待ち時間を確認することができます。

BAMで収集したフローの処理時間の確認

BAM設定で、フローの処理時間の収集結果を確認するには、以下の手順で確認します。

1. IM-BIS の申請／処理開始以外の一覧画面（未処理、処理済、参照、確認）に遷移します。
2. 処理時間、待ち時間の確認を行いたい申請／処理開始の「履歴」（）をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0052	サンプル BPM	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	サンプル BPM	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

3. ポップアップで「履歴参照」画面が開きますので、処理時間、待ち時間を確認する対象のタスク（ノード）の「BAM」（🕒）をクリックします。

履歴参照

案件番号 0000000052

案件名 サンプルBPM

申請/処理開始者 BIS担当者

```

graph LR
    A((開始)) --> B[申請/処理開始]
    B --> C[承認/処理]
    C --> D[承認/処理]
    D --> E((終了))
  
```

処理履歴

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント	履歴	BAM
2013/01/15 23:11	申請/処理開始	申請/処理開始	BIS担当者		サンプル課 12			

4. ルート画面の右に処理時間、待ち時間の情報が表示され、収集した内容を確認することができます。

履歴参照

案件番号	0000000052
案件名	サンプルBPM
申請/処理開始者	BIS担当者

申請/処理開始

BAM

Current task	2013/01/15 - 2013/01/15
Processing time	00-00:02:06
Waiting time	00-00:00:00
Start to current task	2013/01/15 - 2013/01/15
Processing time	00-00:02:06
Waiting time	00-00:00:00

処理履歴	処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織	コメント	履歴	BAM
	2013/01/15 23:11	申請/処理開始	申請/処理開始	BIS担当者		サンプル課 12			

i コラム

過去に処理したタスク（ノード）が削除、または、変更された場合、処理時間の確認画面のタイトルには固定の文言が表示され、ルート画面上のアイコンは選択されません。例えば、下記のような場合にタスク（ノード）が削除、または、変更されます。

- 動的承認ノードを承認後、差戻しなどによって動的承認ノードの前に戻り、対象の動的承認ノードを削除した。
- 横配置ノードを展開・処理後、差戻しなどによって横配置ノードの前に戻り、再度展開・処理を行った。（縦配置ノードでも同様）

処理時間の確認の画面の機能と各部の説明

BAMのフローの処理時間の収集結果の確認画面の内容は以下の通りです。

申請/処理開始

BAM

Current task (1)	2013/01/15 - 2013/01/15
Processing time (2)	00-00:02:06
Waiting time (3)	00-00:00:00
(4)	
Start to current task	2013/01/15 - 2013/01/15
Processing time (5)	00-00:02:06
Waiting time (6)	00-00:00:00

1. Current task

選択中のタスク（ノード）の処理に関する情報を表示します。

日付は、対象のタスク（ノード）の処理到達日から処理終了日の期間を表示します。

2. Processing time（処理時間）

選択中のタスク（ノード）の処理画面を表示してから、処理（申請／承認）のボタンをクリックするまでの時間を「日付-時分秒」の形式で表示します。

3. Waiting time（待ち時間）

選択中のタスク（ノード）の到達（直前のタスク（ノード）の終了）から処理画面を表示するまでの時間を「日付-時分秒」の形式で表示します。

4. Start to current task

申請／処理開始のタスク（ノード）から選択中のタスク（ノード）までの処理に関する情報を表示します。

日付は、申請／処理開始のタスク（ノード）の処理日から対象のタスク（ノード）の処理終了日の期間を表示します。

5. Processing time（処理時間）

申請／処理開始のタスク（ノード）から選択中のタスク（ノード）の処理時間の合計を「日付-時分秒」の形式で表示します。

「処理時間」は「タスク（ノード）の処理画面を表示してから、処理（申請／承認）のボタンをクリックするまでの時間」を表します。

6. Waiting time（待ち時間）

申請／処理開始のタスク（ノード）から選択中のタスク（ノード）の待ち時間の合計を「日付-時分秒」の形式で表示します。

「待ち時間」は「選択中のタスク（ノード）の到達（直前のタスク（ノード）の終了）から処理画面を表示するまでの時間」を表します。

BAMの集計項目が設定条件に合致したときのメッセージを確認する

「BAM詳細設定」画面で設定した集計項目が判定条件に合致した場合、IMBox にメッセージが配信されます。

BAMの通知メッセージを確認する方法

BAM詳細設定に合致したときのメッセージを確認するには、以下の手順で確認します。

1. 「IMBox」の画面に遷移します。



2. 通知メッセージが届いている場合には、メニュー上にある電球のアイコンが光りますので、クリックします。
光っていない場合には、「ApplicationBox」をクリックします。



コラム

IMBox を表示するタイミングによっては、メッセージが届いている場合でも電球のアイコンが光らない場合があります。

3. 「IM-BIS（自動送信）」が宛先となっているメッセージがタイムラインに表示されますので、対象のメッセージの「続きを読む」をクリックします。



4. 「BAM詳細設定」画面で設定した集計項目が判定条件に合致した旨のメッセージを確認することができます。

コラム

自動配信のメッセージは、「BAM通知条件設定」画面で設定した集計範囲の「組織」（所属するユーザ）、「ユーザ」に設定したユーザに配信されます。

The screenshot shows the 'BAM通知条件設定' (BAM Notification Condition Setting) dialog box. It has a title bar with a close button. The dialog is divided into several sections. At the top, there are fields for '定義名' (Definition Name) with the value '処理金額' (Processing Amount) and 'フィールド識別ID' (Field Identification ID) with the value 'number9'. Below this is the '通知条件' (Notification Condition) section, which includes a '通知方法' (Notification Method) dropdown set to 'IMBox', and a '判定条件' (Judgment Condition) section. The '判定条件' section has a '集計値' (Aggregation Value) field with the value '<集計値>' and a '閾値' (Threshold) field with the value '20000'. Below the '通知条件' section is the '集計範囲' (Aggregation Range) section, which is highlighted with a red box. This section contains two tables. The first table is for '組織' (Organization) and has columns for '組織名' (Organization Name), '組織体系' (Organization System), and '削除' (Delete). It contains one row with the value 'サンプル課21' in the '組織名' column, 'サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課21' in the '組織体系' column, and a red 'X' in the '削除' column. The second table is for 'ユーザ' (User) and has columns for 'ユーザコード' (User Code), 'ユーザ名' (User Name), and '削除' (Delete). It is currently empty. At the bottom of the dialog are two buttons: '決定' (Decide) and '取り消し' (Cancel).

サブフローを実行する

サブフローを設定したフローを実行する場合には、サブフローの処理結果に応じて必要な処理を実行する必要があります。

ここでは、「サブフローを設定したフローの実行」の操作について説明します。

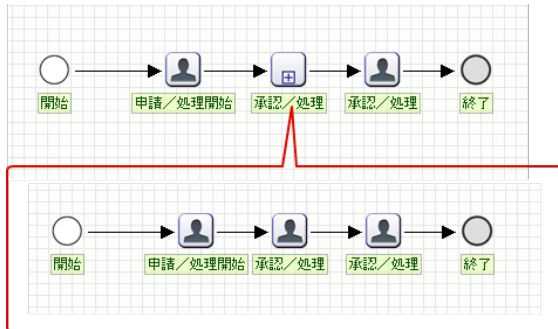
サブフローを開始する

フローにサブフローを設定している場合、メインとなるフローがサブフローの設定されているノードまで到達したら申請／処理を開始することができます。

サブフローを開始する

サブフローを開始するには、以下の手順で操作します。

ここでは、以下の図のように設定したサブフローの開始の手順を例に説明します。



1. IM-BIS の「申請／処理開始」から新しく申請、または処理を開始します。

処理開始 (BPM)

ワークフロー 表示条件

フロー

申請/開始基準日 2013/01/28 申請/処理開始者 BIS担当者

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	サブフロー		
	メインフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

2. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「未処理」をクリックします。
未処理は、メインフローのBIS作成種類のものを選択してください。
3. 先の手順で申請、処理を開始したフローの「処理」をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/開	申請/開	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0016	メインフ ロー	2013/01/2	2013/01/2	BIS担当 者	メインフ ロー	承認/ 処理		2013/01/2				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

4. 「サブフロー開始」画面で、「サブフロー開始情報」の「案件名」、「優先度」を設定し、「サブフロー開始」をクリックします。

サブフロー開始

サブフロー

サブフロー名 サブフロー

サブフロー開始情報

案件名 サブフロー

優先度 通常

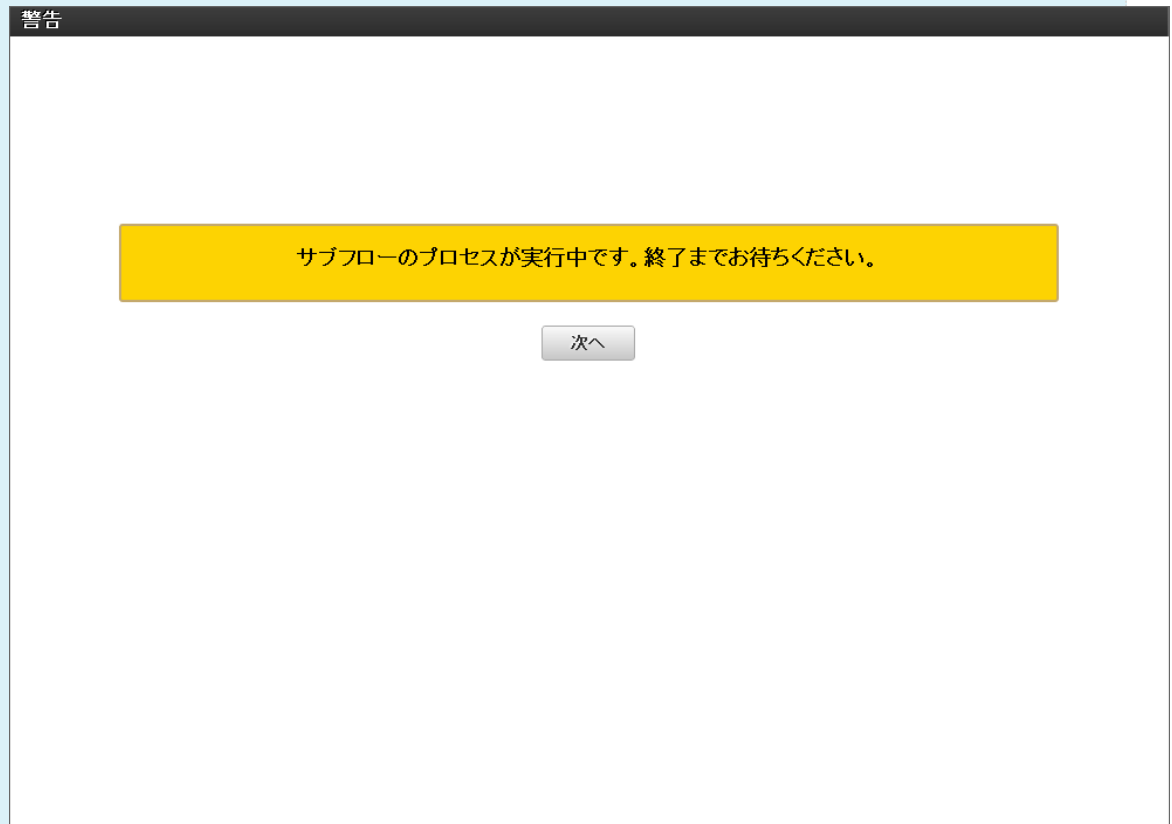
サブフロー開始

5. これで、サブフローが開始できました。
サブフローの処理は、処理対象者の未処理から実行することができます。

コラム

サブフローの開始後は、サブフローの処理が完了するまで、メインのフローの処理を実行することはできません。

サブフローの開始後に未処理からメインとなるフローの案件の「処理」をクリックした場合、以下のエラー画面が表示されます。



コラム

サブフローの申請／処理開始後に、メインフローでイレギュラー処理（否認・差し戻し・引戻しなど）を行った場合、システム側でサブフローのプロセス管理を行うことができません。

運用時には、サブフローの申請／処理開始後にメインフローで処理を戻すような操作を行わないようにしてください。

サブフローの終了後のフローを実行する（正常終了）

サブフローの正常終了後は、メインフローの処理を継続して実行することができます。

サブフロー終了後のフローを実行する

サブフローの正常終了後にフローを実行するには、以下の手順で操作します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「処理済」をクリックします。
処理済は、サブフローのBIS作成種類のものを選択してください。
2. 「処理済（ワークフロー）」、または「処理済（BISフロー）」画面でサブフローの案件が「完了」と

なっていることを確認します。

処理済 (BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 代理先
処理済 処理済

他者案件
本人 代理元
処理済 処理済

優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	案件終了日	完了状態	フロー	履歴
	0000000019	サブフロー	2013/01/28	2013/01/28	BIS担当者	サブフロー	2013/01/28			

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1 を表示

- 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「未処理」をクリックします。

未処理は、メインフローのBIS作成種類のものを選択してください。

- メインフローの案件の「処理」をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期日	処理権限	フロー	履歴
			000000 0018	メインフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	メインフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

5. メインフローの承認／処理画面が表示されますので、「承認／処理」ボタンをクリックして、フローの処理を実行できます。

メインフロー

申請内容

件名 サンプル

決裁費用 50000

内容 サンプルの処理を行います。

処理 オプション処理

サブフローの終了後のフローを実行する（異常終了）

サブフローが異常終了（否認／取止めで終了）した場合には、サブフローの終了後に処理を選択する必要があります。

あります。

サブフローを再実行する

サブフローの異常終了後にサブフローを再実行するには、以下の手順で操作します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「処理済」をクリックします。
処理済は、サブフローのBIS作成種類のものを選択してください。
2. 「処理済（ワークフロー）」、または「処理済（BISフロー）」画面でサブフローの案件が「完了」となっていることを確認します。

処理済 (BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件 代理先 他者案件 代理元

本人 処理済 本人 処理済

優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理人	フロー名	案件終了日	完了状態	フロー	履歴
●	0000000006	サブフロー	2013/01/28	2013/01/28	BIS担当者	サブフロー	2013/01/28	完了		

1ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1 を表示

3. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「未処理」をクリックします。
未処理は、メインフローのBIS作成種類のものを選択してください。
4. 「サブフロー開始」画面で「サブフロー再処理」をクリックします。

サブフロー開始

←

サブフロー

サブフロー名 サブフロー

サブフロー開始情報

案件名 * サブフロー

優先度 通常

処理結果

ステータス 取止め/否認

案件番号 0000000006

処理開始担当者 BIS担当者

組織 サンプル課21

上記ステータスの理由によりサブフローが正常に終了しませんでした。
サブフローをやり直す場合は「サブフロー再処理」ボタンを押してください。
プロセスを進めるなどの場合は「その他の処理」ボタンを押して、処理方法を選択してください。

サブフロー再処理 その他の処理

5. 再度、サブフローの「申請／処理開始」画面からサブフローの処理を開始することができました。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			0000000009	サブフロー	2013/01/2			サブフロー	申請／処理開始		2013/01/2				
			0000000007	メインフロー	2013/01/2	2013/01/2	BIS担当者	メインフロー	承認／処理		2013/01/2				

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

メインフローを実行する

サブフローの異常終了後にメインフローの処理を実行するには、以下の手順で操作します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「処理済」をクリックしま

す。

処理済は、サブフローのBIS作成種類のものを選択してください。

2. 「処理済（ワークフロー）」、または「処理済（BISフロー）」画面でサブフローの案件が「完了」となっていることを確認します。

処理済(BPM)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件
本人 代理先
処理済 処理済

他者案件
本人 代理元
処理済 処理済

優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	案件終了日	完了状態	フロー	履歴
●	0000000015	サブフロー	2013/01/28	2013/01/28	BIS担当者	サブフロー	2013/01/28	完了		

1 ページ中 1 ページ目 15 1件中 1-1 を表示

3. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→（BISフロー、またはワークフロー）→「未処理」をクリックします。

未処理は、メインフローのBIS作成種類のものを選択してください。

4. 「サブフロー開始」画面で「その他の処理」をクリックします。

サブフロー開始

←

サブフロー

サブフロー名 サブフロー

サブフロー開始情報

案件名 * サブフロー

優先度 通常

処理結果

ステータス 取止め/否認

案件番号 0000000015

処理開始担当者 BIS担当者

組織 サンプル課21

上記ステータスの理由によりサブフローが正常に終了しませんでした。
サブフローをやり直す場合は「サブフロー再処理」ボタンを押してください。
プロセスを進めるなどの場合は「その他の処理」ボタンを押して、処理方法を選択してください。

サブフロー再処理 その他の処理

5. 「処理[承認/処理]」画面で「承認/処理」をクリックします。

処理 [承認/処理]

フロー 履歴

処理種別 * 承認/処理

案件番号 0000000014

案件名 メインフロー

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	BIS担当者
申請/開始基準日	2013/01/28
申請/処理開始日	2013/01/28

処理者 * BIS担当者

担当組織 * サンプル課21

+ コメント

+ 撤回し

承認/処理

6. 未処理に遷移します。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0014	メインフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	メインフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

7. メインフローの案件の「処理」をクリックします。

未処理 (BPM)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/処	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0014	メインフ ロー	2013/01/	2013/01/	BIS担当 者	メインフ ロー	承認/ 処理		2013/01/				

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

8. メインフローの承認/処理画面が表示されますので、「承認/処理」ボタンをクリックして、フローの処理を実行できます。

メインフロー

申請内容

件名

決裁費用

内容

処理 オプション処理

特殊なノードを設定する

通常の申請、承認の流れ以外に、設定や選択が必要なノードがあります。
ここでは、それらの操作方法について説明します。

動的承認ノード

動的承認ノードを含むフローでは、申請・承認時に動的承認ノードの処理対象者を設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. 申請を行うフロー（BIS定義）の  をクリックします。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請/開始基準日 2013/08/04 申請/処理開始者 青柳辰巳

申請/処理開始	フロー名	備考	フロー
	横配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	横配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	縦配置フロー		
	縦配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	縦配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	直線ルート[JavaEE開発モデル]		
	直線ルート[スクリプト開発モデル]		
	動的承認フロー		
	複合ルート[JavaEE開発モデル]		
	複合ルート[スクリプト開発モデル]		
	分岐ルート[JavaEE開発モデル]		
	分岐ルート[スクリプト開発モデル]		

1 ページ中 1 ページ目 15 12 件中 1 - 12 を表示

3. フォームの項目に入力し、「申請」をクリックします。

備品持出申請書

申請日: 2013/08/04

部署: 営業1部

氏名: 青柳辰巳

期間: 2013/08/19 - 2013/08/23

備品: タブレットパソコン

目的: 8/19~8/23に開催するサンプル会社主催のFuture Solution Exhibitionでのブース展示に利用するため

備考:

申請 一時保存 戻る

4. 必要な情報を入力し、「フロー設定」にある動的承認ノードの をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * 動的承認フロー

申請／処理開始者 青柳辰巳

申請／開始基準日 2013/08/04

担当組織 * サンプル課11

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

フロー設定

編集	ノード名	必要な設定内容	設定状況
	動的承認	処理対象者を設定してください(必須)	

+ 根回し

申請／処理開始

5. 「検索」をクリックします。

ノード編集

←

ノード名 動的承認

保存済み設定   削除

設定名 保存

処理対象者 *  検索

対象種別	対象名	状況確認	クリア
------	-----	------	-----

決定

6. 処理対象者をクリックします。

ノード編集

←

ノード名 動的承認

保存済み設定   削除

設定名 保存

処理対象者 *  検索

対象種別

状況確認

クリア

処理対象者

-  ユーザ
-  組織
-  パブリックグループ
-  役職
-  役割
-  組織 + 役職
-  パブリックグループ + 役割

7. 「ユーザ検索」画面で動的承認ノードの処理対象者を選択して「決定」をクリックします。

ユーザ検索

検索基準日: 2013/08/04 ロケール: 日本語

キーワード検索 会社組織(キーワード) 会社組織(ツリー)
パブリックグループ(キーワード) パブリックグループ(ツリー)

検索キーワードを入力してください。

☒ 名前 ☒ コード ☒ フリガナ
☒ 前方一致 ☐ 完全一致 ☐ 部分一致

検索

あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や		ゆ		よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ				

青柳辰巳

青柳辰巳

決定

8. 設定した処理対象者が表示されることを確認して「決定」をクリックします。

ノード編集

←

ノード名 動的承認

保存済み設定 ☐ 削除

設定名 保存

処理対象者 *

検索

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳		

決定

9. これで、動的承認ノードの処理対象者を設定することができました。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * 動的承認フロー

申請／処理開始者 青柳辰巳

申請／開始基準日 2013/08/04

担当組織 * サンプル課11

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

フロー設定

編集	ノード名	必要な設定内容	設定状況
	動的承認	処理対象者を設定してください(必須)	

+ 根回し

申請／処理開始

10. 設定状況が となっていることを確認し、「申請／処理開始」をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * 動的承認フロー

申請／処理開始者 吉柳辰巳

申請／開始基準日 2013/08/04

担当組織 * サンプル課11

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

フロー設定

編集	ノード名	必要な設定内容	設定状況
	動的承認	処理対象者を設定してください(必須)	

+ 撤回し

申請／処理開始

以上で、動的承認ノードに対する設定ができました。

縦配置・横配置ノード

縦配置・横配置ノードを含むフローでは、申請・承認時に承認が必要なノード数と処理対象者を設定します。

1. 「サイトマップ」→「IM-BIS」→「ワークフロー」→「申請」をクリックします。
2. 申請を行うフロー（BIS定義）の をクリックします。

申請(ワークフロー)

BPM 表示条件

フロー 一時保存

申請／開始基準日 2013/08/04 申請／処理開始者 吉柳辰巳

申請／処理開始	フロー名	備考	フロー
	横配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	横配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	縦配置フロー		
	縦配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	縦配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	直線ルート[JavaEE開発モデル]		
	直線ルート[スクリプト開発モデル]		
	複合ルート[JavaEE開発モデル]		
	複合ルート[スクリプト開発モデル]		
	分岐ルート[JavaEE開発モデル]		
	分岐ルート[スクリプト開発モデル]		

11件中 1 - 11 を表示

3. フォームの項目に入力し、「申請」をクリックします。

備品持出申請書

申請日: 2013/08/04 

部署: 営業第1部

氏名: 青柳辰巳

期間: 2013/08/12  - 2013/08/12 

備品: Windowsノートパソコン 

目的:
○○社向けデモを実施するため

備考:
8/12 ○○社訪問

申請 一時保存 戻る

4. 必要な情報を入力し、フロー設定にある縦配置ノードの  をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 *	パソコン持出申請(8/12)		
申請／処理開始者	青柳辰巳		
申請／開始基準日	2013/08/04		
担当組織 *	サンプル課11 ▼		
優先度	通常 ▼		
+ コメント			
+ 添付ファイル			
フロー設定	編集	ノード名	必要な設定内容
		縦配置	同期処理を設定してください(必須)
+ 撤回し			

申請／処理開始

5. 「検索」をクリックします。

ノード編集

←

保存済み設定

設定名

N 処理設定

0.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 * 縦配置

処理対象者 *

対象種別 対象名 状況確認 クリア

2 ☐ 処理を設定する

3 ☐ 処理を設定する

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

6. 処理対象者をクリックします。

ノード編集

←

保存済み設定

設定名

N 処理設定

0.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 * 縦配置

処理対象者 *

対象種別 対象名 状況確認 クリア

2 ☐ 処理を設定する

3 ☐ 処理を設定する

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

処理対象者

- ☒ ユーザ
- ☐ 組織
- ☐ パブリックグループ
- ☐ 役職
- ☐ 役割
- ☐ 組織 + 役職
- ☐ パブリックグループ + 役割

7. 「ユーザ検索」画面で縦配置ノードの処理対象者を選択して「決定」をクリックします。

ユーザ検索

検索基準日: 2013/08/04 ロケール: 日本語

検索キーワードを入力してください。

☒ 名前
 ☒ コード
 ☒ フリガナ

☒ 前方一致
 ☐ 完全一致
 ☐ 部分一致

あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や		ゆ		よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ				

青柳辰巳

8. これで、縦配置ノードの1つに対する処理対象者を設定することができました。

ノード編集

←

保存済み設定

設定名

N 処理設定

0.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 * 縦配置

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳	i	x

2 ☐ 処理を設定する

3 ☐ 処理を設定する

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

9. 縦配置ノードの2つめの処理対象者を設定するために「処理を設定する」のチェックをオンにします。

ノード編集

←

保存済み設定

設定名

N 処理設定

0.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 *

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳	i	✕

2 ☒ 処理を設定する

ノード名

処理対象者

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳	i	✕

3 ☐ 処理を設定する

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

10. 1つめと同じように5～8の手順を行い、2つめの処理対象者を設定します。

ノード編集

←

保存済み設定

設定名

N 処理設定

0.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 *

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳	i	✕

2 ☒ 処理を設定する

ノード名

処理対象者

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	生田一哉	i	✕

3 ☐ 処理を設定する

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

11. 必要な数の処理対象者を設定したら「決定」をクリックします。

ノード編集

保存済み設定

設定名

N O.

1 ☒ 処理を設定する

ノード名 * 縦配置

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	青柳辰巳		

2 ☒ 処理を設定する

ノード名 縦配置

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	生田一哉		

3 ☒ 処理を設定する

ノード名 縦配置

処理対象者 *

対象種別	対象名	状況確認	クリア
ユーザ	関根千香		

4 ☐ 処理を設定する

5 ☐ 処理を設定する

12. 設定状況が となっていることを確認し、「申請／処理開始」をクリックします。

申請／処理開始 [申請／処理開始]

フロー

案件名 * パソコン持出申請(8/12)

申請／処理開始者 青柳辰巳

申請／開始基準日 2013/08/04

担当組織 * サンプル課11

優先度 通常

+ コメント

+ 添付ファイル

フロー設定

編集	ノード名	必要な設定内容	設定状況
	縦配置	同期処理を設定してください(必須)	

+ 根回し

以上で、縦配置（横配置）ノードに対する設定ができました。

付録

申請／処理開始一覧

Contents

- 「処理開始（BISフロー）」画面の機能と各部の説明
- 「申請（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明
- 一時保存一覧の機能と各部の説明

「処理開始（BISフロー）」画面の機能と各部の説明

「処理開始（BISフロー）」画面の内容は以下の通りです。

The screenshot shows the '処理開始 (BISフロー)' screen. At the top, there is a header bar with 'ワークフロー' and '表示条件' tabs, and a refresh icon (3). Below the header, there is a main content area. On the left, there is a sidebar with 'フロー' (4). The main area contains a form with '申請／開始基準日' (4) set to '2017/12/01' and '申請／処理開始者' (5) set to '青柳 崇巳'. Below this is a table with columns '申請／処理開始' (6), 'フロー名' (7), '備考' (8), and 'フロー' (9). The table has one row with '【サンプル】 BISフロー'. At the bottom, there is a pagination bar showing '1 ページ中 1 ページ目' and '1件中 1-1 を表示'.

1. ワークフロー
「申請（ワークフロー）」画面に切り替えます。
2. 表示条件
フローの表示条件を設定する画面を表示します。
3. 最新情報
表示している内容を最新の状態に更新します。
4. 申請／開始基準日
申請／処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

5. 申請／処理開始者

申請／処理を開始するユーザを選択します。

6. 申請／処理開始

 をクリックすると申請／処理を開始します。

7. フロー名

対象のフロー名を表示します。

8. 備考

対象のフローの備考（説明）を表示します。

9. フロー

対象のフロー画像を表示します。

「申請（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「申請（ワークフロー）」画面の内容は以下の通りです。



申請／処理開始	フロー名	備考	フロー
	横配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	横配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	縦配置ルート[JavaEE開発モデル]		
	縦配置ルート[スクリプト開発モデル]		
	直線ルート[JavaEE開発モデル]		
	直線ルート[スクリプト開発モデル]		
	複合ルート[JavaEE開発モデル]		
	複合ルート[スクリプト開発モデル]		
	分岐ルート[JavaEE開発モデル]		
	分岐ルート[スクリプト開発モデル]		

1. BISフロー

「処理開始（BISフロー）」画面に切り替えます。

2. 表示条件

フロー定義の表示条件を設定する画面を表示します。

3. 最新情報

表示している内容を最新の状態に更新します。

4. フロー

選択している「申請／開始基準日」「申請／処理開始者」の条件で申請できるフローの一覧を表示します。

5. 一時保存

一時保存一覧に切り替えます。

6. 申請／開始基準日

申請／処理を開始する基準日を選択します。

指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

7. 申請／処理開始者

申請／処理を開始するユーザを選択します。

8. 申請／処理開始

 をクリックすると申請／処理を開始します。

9. フロー名

対象のフロー名を表示します。

10. 備考

対象のフローの備考（説明）を表示します。

11. フロー

対象のフロー画像を表示します。

一時保存一覧の機能と各部の説明

一時保存一覧では、申請をする前の申請内容を、一時的に保存した案件の一覧を表示します。
画面の内容は以下の通りです。

申請 (ワークフロー)

BISフロー 表示条件

① 申請／処理開始	② フロー名	③ 申請／開始基準日	④ 申請／処理開始者	⑤ 案件名	⑥ コメント	⑦ フロー	⑧ 削除
	【サンプル】ワークフロー	 2017/12/20	青柳 辰巳	一時保存 (12/20)			
	直線ルート [JavaEE開発モデル]	 2017/12/08	青柳 辰巳	一時保存 (12/08)			

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

1. 申請／処理開始



をクリックすると、一時保存した状態で「申請／処理開始」画面を表示します。

2. フロー名
対象のフロー名を表示します。
3. 申請／開始基準日
申請／処理開始基準日を表示します。
4. 申請／処理開始者
申請／処理開始者を表示します。
5. 案件名
一時保存時に設定した案件名を表示します。
6. コメント
一時保存時に設定したコメントを表示します。
7. フロー
対象のフローの画像を表示します。
8. 削除
一時保存中の案件を削除します。

未処理一覧

Contents

- 「未処理（BISフロー）」画面の機能と各部の説明
- 「未処理（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「未処理（BISフロー）」画面の機能と各部の説明

「未処理（BISフロー）」画面の内容は以下の通りです。

未処理 (BISフロー)

ワークフロー 連続処理 表示条件

本人 代理

処理 処理

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/個	申請/複	申請/複	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期限	処理権限	フロー	履歴
			000000 0004	【サンプル】 BISフロー	2017/12/	2017/12/	生田一 哉	【サン プル】 BISフロ ー	Approv e/Proce ss		2017/12/				
			000000 0001	【サン プル】 BISフロ ー	2017/12/	2017/12/	関根千 香	【サン プル】 BISフロ ー	Approv e/Proce ss		2017/12/				

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

1. ワークフロー

「未処理（ワークフロー）」画面に切り替えます。

2. 連続処理

「承認待ち」状態の案件に対して、一覧に戻らずに連続で承認ができます。
連続処理したい案件を選択し、一つずつ続けて処理できます。

3. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

4. 最新情報

表示している内容を最新の状態にします。

5. 処理（本人）

ユーザ本人が処理対象者となる案件を表示します。

6. 処理（代理）

代理で処理することを依頼されたユーザが処理対象者となる案件を表示します。

7. 処理

をクリックすると処理を開始します。

8. 振替

処理対象者を別のユーザに振替します。

9. 優先度

対象の案件の優先度を表示します。

10. 案件番号

対象の案件の案件番号を表示します。

11. 案件名

対象の案件の案件名を表示します。

12. 申請／開始基準日

申請／処理を開始する基準日を選択します。

指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

13. 申請／処理開始日

申請／処理を開始した日を表示します。

14. 申請／処理開始者

申請／処理を開始したユーザを選択します。

15. フロー名

対象の案件のフロー名を表示します。

16. ノード名

対象の案件のノード名を表示します。

17. 状態

現時点での案件の状態を表示します。

アイコンにカーソルを合わせることで、ツールチップで詳細を表示します。

18. 到達日

対象のノードまで処理が到達した日付を設定します。

19. 処理期限

処理を行う期限を表示します。

20. 処理権限

処理の権限を表示します。

アイコンにカーソルを合わせることで、ツールチップで権限の詳細を表示します。

21. フロー

対象の案件のフロー画像を表示します。

22. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「未処理（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「未処理（ワークフロー）」画面の内容は以下の通りです。

未処理 (ワークフロー)

1 BISフロー 2 連続処理 3 一括処理 4 表示条件 5

本人 6 申請 7 承認 8 申請 9 承認

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/復	申請/復	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期間	処理権限	フロー	履歴
			000000 0003	xx申請	2017/12/	2017/12/	関根千 香	【サン ブル】 ワーク フロー	承認		2017/12/				
			000000 0002	cc申請	2017/12/	2017/12/	関根千 香	横配置 ルート [スクリ プト開 発モデ ル]	Arrange horizont ally		2017/12/				

11 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

1. BISフロー

「未処理 (BISフロー)」画面に切り替えます。

2. 連続処理

「承認待ち」状態の案件に対して、一覧に戻らずに連続で承認ができます。
連続処理したい案件を選択し、一つずつ続けて処理できます。

3. 一括処理

「承認待ち」状態の案件に対して、一括で承認ができます。
一括処理したい案件を選択して、一画面で一括して処理を行います。

4. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

5. 最新情報

表示している内容を最新の状態にします。

6. 申請 (本人)

ユーザ本人が申請の処理対象者となる案件を表示します。

7. 承認 (本人)

ユーザ本人が承認の処理対象者となる案件を表示します。

8. 申請 (代理)

代理を依頼されたユーザが申請の処理対象者となる案件を表示します。

9. 承認（代理）

代理を依頼されたユーザが承認の処理対象者となる案件を表示します。

10. 処理



をクリックすると処理を開始します。

11. 振替

処理対象者を別のユーザに振替します。

12. 優先度

優先度を表示します。

13. 案件番号

対象の案件の案件番号を表示します。

14. 案件名

対象の案件の案件名を表示します。

15. 申請／開始基準日

申請／処理を開始する基準日を選択します。

指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

16. 申請／処理開始日

申請／処理を開始した日を表示します。

17. 申請／処理開始者

申請／処理を開始するユーザを選択します。

18. フロー名

対象の案件のフロー名を表示します。

19. ノード名

対象の案件のノード名を表示します。

20. 状態

現時点での案件の状態を表示します。

アイコンにカーソルを合わせるにより、ツールチップで詳細を表示します。

21. 到達日

対象のノードまで処理が到達した日付を設定します。

22. 処理期限

処理を行う期限を表示します。

23. 処理権限

処理に設定されたの権限を表示します。

アイコンにカーソルを合わせるにより、ツールチップで権限の詳細を表示します。

24. フロー

対象の案件のフロー画像を表示します。

25. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

処理済一覧

Contents

- 「処理済（BISフロー）」画面の機能と各部の説明
- 「処理済（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「処理済（BISフロー）」画面の機能と各部の説明

「処理済（BISフロー）」画面の「未完了案件」

「処理済（BISフロー）」画面の「未完了案件」の内容は以下の通りです。

The screenshot shows the '処理済 (BISフロー)' screen. At the top, there are tabs for 'ワークフロー' and '表示条件'. Below these are filters for '未完了案件' and '完了案件'. The main area contains a table with columns: 引戻, 優先度, 案件番号, 案件名, 申請/開始, 申請/処理, 申請/処理, フロー名, 最終処理日, フロー, 履歴. A single row of data is visible. At the bottom, there is a pagination bar showing '1 ページ中' and '1 件中 1 - 1 を表示'.

1. ワークフロー

「処理済（ワークフロー）」画面に切り替えます。

2. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

3. 最新情報

表示している内容を最新の状態にします。

4. 未完了案件

全ての処理が完了していない案件を表示します。

5. 完了案件

全ての処理が完了した案件を表示します。

6. 処理済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身となる案件

7. 処理済（代理先）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身として代理で処理が行われた案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身として代理で処理が行われた案件

8. 処理済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者がユーザ自身となる案件

9. 処理済（代理元）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者が他のユーザの代理で処理を行った案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者、または承認／処理者が他のユーザの代理で処理を行った案件

10. 引戻

案件の処理を現在のノードから任意の処理済みのノードに戻します。

11. 優先度

優先度を表示します。

12. 案件番号

対象の案件の案件番号を表示します。

13. 案件名

対象の案件の案件名を表示します。

14. 申請／開始基準日

申請／処理を開始する基準日を表示します。

15. 申請／処理開始日
申請／処理を開始した日を表示します。
16. 申請／処理開始者
申請／処理を開始するユーザを表示します。
17. フロー名
対象の案件のフロー名を表示します。
18. 最終処理日
最後に処理をした日付を表示します。
19. フロー
対象の案件のフロー画像を表示します。
20. 履歴
対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「処理済（BISフロー）」画面の「完了案件」

「処理済（BISフロー）」画面の「完了案件」の内容は、以下の通りです。

処理済 (BISフロー)

ワークフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件 代理先 他案件 代理元

本人 処理済 本人 処理済

① 優先度	② 案件番号	③ 案件名	④ 申請／開始日	⑤ 申請／処理日	⑥ 申請／処理者	⑦ フロー名	⑧ 案件終了日	⑨ 完了状態	⑩ フロー	⑪ 履歴
●	0000000001	【サンプル】BISフロー	2017/12/11	2017/12/05	関根千香	【サンプル】BISフロー	2017/12/05	完了	📄	📄

1件中 1 - 1 を表示

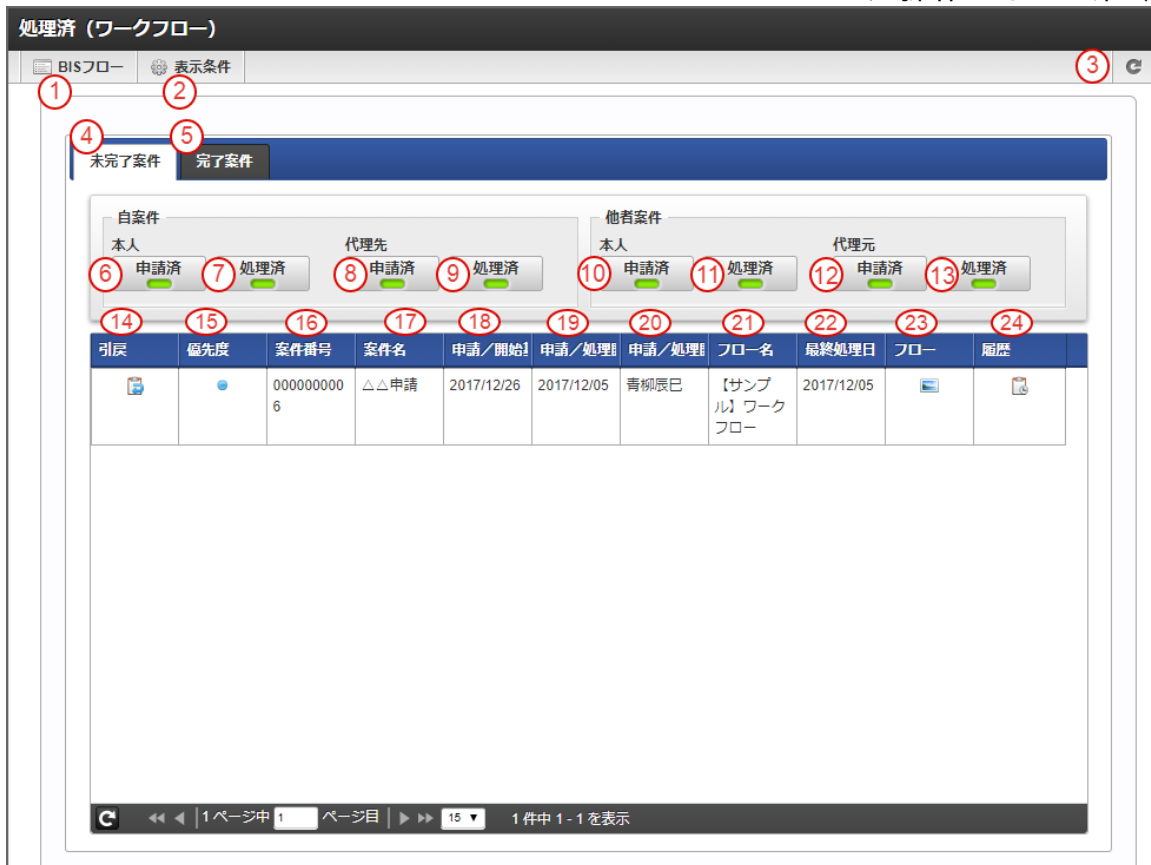
1. 優先度
優先度を表示します。
2. 案件番号
対象の案件の案件番号を表示します。
3. 案件名
対象の案件の案件名を表示します。

4. 申請／開始基準日
申請／処理を開始する基準日を表示します。
5. 申請／処理開始日
申請／処理を開始した日を表示します。
6. 申請／処理開始者
申請／処理を開始するユーザを表示します。
7. フロー名
対象の案件のフロー名を表示します。
8. 案件終了日
対象の案件が終了した日付を表示します。
9. 完了状態
現時点での処理の状態を表示します。
アイコンにカーソルを合わせるにより、ツールチップで状態の詳細を表示します。
10. フロー
対象のフロー画像を表示します。
11. 履歴
対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「処理済（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「処理済（ワークフロー）」画面の「未完了案件」

「処理済（ワークフロー）」画面の「未完了案件」の内容は以下の通りです。



1. BISフロー

「処理済（BISフロー）」画面に切り替えます。

2. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

3. 最新情報

表示している内容を最新の状態にします。

4. 未完了案件

処理が完了していない案件を表示します。

5. 完了案件

処理が完了した案件を表示します。

6. 申請済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身となる案件

7. 処理済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 承認／処理者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 承認／処理者がユーザ自身となる案件

8. 申請済（代理先）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身の代理で申請が行われた案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身の代理で申請が行われた案件

9. 処理済（代理先）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 承認／処理者がユーザ自身の代理で処理が行われた案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者がユーザ自身の案件
- 承認／処理者がユーザ自身の代理で処理が行われた案件

10. 申請済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者がユーザ自身となる案件

11. 処理済（本人）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 承認／処理者がユーザ自身となる案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 承認／処理者がユーザ自身となる案件

12. 申請済（代理元）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者が他のユーザの代理で申請を行った案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 申請／処理開始者が他のユーザの代理で申請を行った案件

13. 処理済（代理元）

有効：下記条件に合致する案件を表示します。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 承認／処理者が他のユーザの代理で処理を行った案件

無効：下記条件に合致する案件を表示しません。

- 処理対象者が他のユーザの案件
- 承認／処理者が他のユーザの代理で処理を行った案件

14. 引戻

案件の処理を現在のノードから任意の処理済みのノードに戻します。

15. 優先度

対象の案件の優先度を表示します。

16. 案件番号

対象の案件の案件番号を表示します。

17. 案件名

対象の案件の案件名を表示します。

18. 申請／開始基準日

申請／処理を開始する基準日を表示します。

19. 申請／処理開始日

申請／処理を開始した日を表示します。

20. 申請／処理開始者

申請／処理を開始したユーザを表示します。

21. フロー名

対象の案件のフロー名を表示します。

22. 最終処理日

最後に処理をした日付を表示します。

23. フロー

対象の案件のフロー画像を表示します。

24. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「処理済（ワークフロー）」画面の「完了案件」

「処理済（ワークフロー）」画面の「完了案件」の内容は以下の通りです。

処理済 (ワークフロー)

BISフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

自案件 代理先 他者案件

本人 申請済 処理済 本人 申請済 処理済 代理元 申請済 処理済

① 優先度	② 案件番号	③ 案件名	④ 申請/開始日	⑤ 申請/処理日	⑥ 申請/処理日	⑦ フロー名	⑧ 案件終了日	⑨ 完了状態	⑩ フロー	⑪ 履歴
●	0000000003	xx申請	2017/12/21	2017/12/05	関根千香	【サンプル】ワークフロー	2017/12/05	●		

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

- 優先度
優先度を表示します。
- 案件番号
対象の案件の案件番号を表示します。
- 案件名
対象の案件の案件名を表示します。
- 申請/開始基準日
申請/処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。
- 申請/処理開始日
申請/処理を開始した日を表示します。
- 申請/処理開始者
申請/処理を開始するユーザを選択します。
- フロー名
対象の案件のフロー名を表示します。
- 案件終了日
対象の案件が終了した日付を表示します。
- 完了状態
現時点での処理の状態を表します。
アイコンにカーソルを合わせることで、ツールチップで状態の詳細を表示します。
- フロー
対象のフロー画像を表示します。

11. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

参照一覧

Contents

- 「参照（BISフロー）」画面の機能と各部の説明
- 「参照（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「参照（BISフロー）」画面の機能と各部の説明

「参照（BISフロー）」画面の「未完了案件」

「参照（BISフロー）」画面の「未完了案件」の内容は以下の通りです。

参照 (BISフロー)

ワークフロー 表示条件

① ② ③

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

操作	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	フロー	履歴
	●	0000000005	【サンプル】 BISフロー	2017/12/05	2017/12/05	青柳辰巳	【サンプル】 BISフロー		
	●	0000000004	【サンプル】 BISフロー	2017/12/26	2017/12/05	生田一哉	【サンプル】 BISフロー		

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1 - 2 を表示

1. ワークフロー

「参照（ワークフロー）」画面に切り替えます。

2. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

3. 最新情報

表示している内容を最新の状態に更新します。

4. 未完了案件
処理が完了していない案件を表示します。
5. 完了案件
処理が完了した案件を表示します。
6. 操作
ユーザに操作権限がある場合、案件情報を操作することができます。
7. 優先度
対象の案件の優先度を表示します。
8. 案件番号
対象の定義の案件番号を表示します。
9. 案件名
対象の定義の案件名を表示します。
10. 申請／開始基準日
申請／処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。
11. 申請／処理開始日
申請／処理を開始した日を表示します。
12. 申請／処理開始者
申請／処理を開始したユーザを選択します。
13. フロー名
対象の案件のフロー名を表示します。
14. フロー
対象の案件のフロー画像を表示します。
15. 履歴
対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「参照（BISフロー）」画面の「完了案件」

「参照（BISフロー）」画面の「完了案件」の内容は以下の通りです。

参照 (BISフロー)

ワークフロー 表示条件

未完了案件		完了案件									
① 操作	② 優先度	③ 案件番号	④ 案件名	⑤ 申請/開始	⑥ 申請/処理	⑦ 申請/処理	⑧ フロー名	⑨ 案件終了日	⑩ 完了状態	⑪ フロー	⑫ 履歴
		0000000001	【サンプル】BISフロー	2017/12/11	2017/12/05	関根千香	【サンプル】BISフロー	2017/12/05			

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

1. 操作

ユーザに操作権限がある場合、案件情報を操作することができます。

2. 優先度

対象の案件の優先度を表示します。

3. 案件番号

対象の定義の案件番号を表示します。

4. 案件名

対象の定義の案件名を表示します。

5. 申請/開始基準日

申請/処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

6. 申請/処理開始日

申請/処理を開始した日を表示します。

7. 申請/処理開始者

申請/処理を開始したユーザを選択します。

8. フロー名

対象の案件のフロー名を表示します。

9. 案件終了日

案件が終了した日付を表示します。

10. 完了状態

案件の状態を表示します。
アイコンにカーソルを合わせることで詳細をツールチップで表示します。

11. フロー

対象の案件のフロー画像を表示します。

12. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「参照（ワークフロー）」画面の機能と各部の説明

「参照（ワークフロー）」画面の「未完了案件」

「参照（ワークフロー）」画面の「未完了案件」の内容は以下の通りです。

参照 (ワークフロー)

BISフロー 表示条件

未完了案件 完了案件

操作	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理人	フロー名	フロー	履歴
	●	0000000006	△△申請	2017/12/26	2017/12/05	青柳辰巳	【サンプル】ワークフロー		
	●	0000000002	○○申請	2017/12/05	2017/12/05	関根千香	横配置ルート [スクリプト 開発モデル]		

1 ページ中 1 ページ目 15 2 件中 1-2 を表示

1. BISフロー

「参照（BISフロー）」画面に切り替えます。

2. 表示条件

一覧に表示する内容に条件を設定します。

- 検索条件
一覧に表示する内容を、キーワードや日付などで絞り込みます。
- 表示設定
一覧に表示する項目を変更します。

3. 最新情報

表示している内容を最新の状態に更新します。

4. 未完了案件

処理が完了していない案件を表示します。

5. 完了案件
処理が完了した案件を表示します。
6. 操作
ユーザに操作権限がある場合、案件情報を操作することができます。
7. 優先度
対象の案件の優先度を表示します。
8. 案件番号
対象の定義の案件番号を表示します。
9. 案件名
対象の定義の案件名を表示します。
10. 申請／開始基準日
申請／処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。
11. 申請／処理開始日
申請／処理を開始した日を表示します。
12. 申請／処理開始者
申請／処理を開始したユーザを選択します。
13. フロー名
対象の案件のフロー名を表示します。
14. フロー
対象の案件のフロー画像を表示します。
15. 履歴
対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

「参照（ワークフロー）」画面の「完了案件」

「参照（ワークフロー）」画面の「完了案件」の内容は以下の通りです。

参照 (ワークフロー)

BISフロー 表示条件

① 操作	② 優先度	③ 案件番号	④ 案件名	⑤ 申請/開始	⑥ 申請/処理	⑦ 申請/処理	⑧ フロー名	⑨ 案件終了日	⑩ 完了状態	⑪ フロー	⑫ 履歴
	●	00000000 03	xx申請	2017/12/21	2017/12/05	関根千香	【サンプル】ワーク フロー	2017/12/05			

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

1. 操作

ユーザに操作権限がある場合、案件情報を操作することができます。

2. 優先度

対象の案件の優先度を表示します。

3. 案件番号

対象の定義の案件番号を表示します。

4. 案件名

対象の定義の案件名を表示します。

5. 申請/開始基準日

申請/処理を開始する基準日を選択します。
指定した日付時点のフロー情報で処理を開始します。

6. 申請/処理開始日

申請/処理を開始した日を表示します。

7. 申請/処理開始者

申請/処理を開始したユーザを選択します。

8. フロー名

対象の案件のフロー名を表示します。

9. 案件終了日

案件が終了した日付を表示します。

10. 完了状態

案件の状態を表示します。
アイコンにカーソルを合わせることで詳細をツールチップで表示します。

11. フロー

対象の案件のフロー画像を表示します。

12. 履歴

対象の案件の「処理参照」画面を表示します。

代理・特定業務代理・権限代理の違い

Contents

- 代理・特定業務代理・権限代理の設定対象
- 代理・特定業務代理・権限代理の例

代理・特定業務代理・権限代理の設定対象

代理の設定について、「代理」「特定業務代理」「権限代理」では、設定元・設定先の対象が以下の表の通り異なります。

代理の種類	代理	特定業務代理	権限代理
代理元	ユーザ	ユーザとフローの組み合わせ	ユーザの所属組織
代理先	ユーザ	ユーザや組織1つとフロー1つ	ユーザや組織

- 代理の使い分けは、代理先ユーザの処理内容をどのように制限するので設定します。
 - 代理元ユーザの処理全てに対して代理を設定する場合は「代理設定」を利用します。
 - 代理元ユーザの処理のうち、特定のフローに限定して代理を設定する場合には、「特定業務代理」を利用します。
 - 代理元ユーザ（所属組織が複数）の処理のうち、特定の所属組織に基づいて処理できる内容のみ代理を設定する場合には、「権限代理」を利用します。

代理・特定業務代理・権限代理の例

代理の種類による代理先ユーザが処理できる内容の違いについて、例に基づいて説明します。

この例では、下記の図の通りに代理元・代理先ユーザが存在するものとします。

- 代理元

ユーザ	青柳辰巳
所属組織	営業第1部、営業第2部
対象のフロー (組織単位で承認者の処理対象者に設定)	備品

- 代理先

ユーザ	生田一哉
-----	------

所属組織	営業第1部、営業第2部
対象のフロー (組織単位で承認者の処理対象者に設定)	なし

各代理設定について、以下の図のように設定します。

代理設定の種類	代理元	代理先
代理	青柳辰巳	生田一哉
特定業務代理	青柳辰巳 + 備品購入申請	生田一哉
権限代理	青柳辰巳 + 営業第2部	生田一哉

上記の図の設定の場合には、代理先ユーザが処理できる内容は以下の表のとおりです。

代理設定の種類	代理先ユーザの処理
代理	青柳辰巳が承認できる案件（申請）をすべて代理承認者として処理できる
特定業務代理	- 青柳辰巳が承認できる「備品購入申請」の案件（申請）は代理承認者として処理できる - 青柳辰巳が承認できる「汎用申請」の案件（申請）は設定に含まれないため、代理承認者として処理できない
権限代理	- 営業第2部の青柳辰巳として承認できる案件（申請）は代理承認者として処理できる - 営業第1部の青柳辰巳として承認できる案件（申請）は設定に含まれないため、代理承認者として処理できない